

令和6年 秋の見学会 如意寺・諏訪神社を訪ねる



お気軽に
ご参加ください!

神戸を代表する古刹の一つ如意寺を訪ね、ご住職に如意寺や榎谷村についてお話を伺います。そのあと諏訪神社まで歩いて秋の榎谷を楽しみます。

日時 令和6年10月12日(土) 小雨決行とします
午後1時00分～午後4時半頃解散

集合時間 午後1時00分

集合場所 市営地下鉄西神南駅 駅前

行程 右記をご覧ください

解散 諏訪神社 (午後4時半頃解散予定)

参加費 無料

主催 西神ニュータウン研究会

当日連絡先: 笹原 電話 090-5648-3569

申し込みは不要です。当日、集合場所にお越しください。

【行程】 徒歩約 3.8km

① 西神南駅 集合

↓(約 1.3km)

② 如意寺 見学

ご住職のお話

↓(約 2.5km)

↓道中、茅葺民家・道標

③ 諏訪神社 見学

解散

【見どころ】

○内の数字は、前ページの○内数字に対応

- ① **西神南ニュータウン** 開発面積 415ha 計画人口 35,000人 現在 31,575人 (令和6年8月)
1993年(平成5年)に街びらきした西区では最も新しいニュータウン。
ショッピングセンター……「セリオ」コープこうべなど約40店舗。
ニュータウン内の幹線道路沿いに「街角施設」が立地。

② **如意寺** 天台宗

『如意寺旧記』によれば、大化元年(645年)法道仙人が創建したと伝えられている。

一方、貞応三年(1224年)の「延暦寺政所下文案」では願西聖人の建立(10世紀)とされている。

寺域は東西16町南北12町に及んでいた。

下記の3棟はいずれも国の重要文化財である。

文殊堂(附:厨子)……入母屋造、本瓦葺き。部材の墨書から享徳2年(1453年)の建立と推定されている。
傾斜地に建ち、前面を高床式とする点が特色である。

阿弥陀堂(常行堂)……入母屋造、とち葺き形銅板葺き。鎌倉時代初期。正面を全面部戸とする。

三重塔……至徳2年(1385年)、本瓦葺、高さ21.33m

周辺一帯は神戸市により文化環境保存区域に指定され、静謐な環境が守られている。

福聚院(参考)

もと天台宗如意寺の塔頭寺院に属し、本坊の役割を担う重要な支院であった。文献における福聚院の初見は、慶長7年(1602)3月の『如意寺検地帳』の「福壽院」である。1692年の『如意寺古地図』では、ほかに12坊が記されている。明治維新後、明石諸山の律院は閉門を余儀なくされるが、福聚院は唯一、律院の法燈を護持し今日にいたる。(神戸市資料より抜粋)

宮本武蔵作庭と伝えられている庭園がある。



③ **諏訪神社**

鎌倉中期の文永元年(1264年)、端谷城主の衣笠法眼為氏が、信州諏訪大社より寺谷(櫛谷町の東端地区)に勧請(かんじょう=神仏の分霊をむかえて祀ること)したが、その後夢のお告げに従い、神社の位置を、近くに池があり、諏訪大社の鎮座地に似ている現在の地に移したと伝えられている。



【服装等について】

- ・当日は歩きやすい服装や履物でご参加ください。(西神南駅から如意寺までは一部坂道があります。)
- 雨具・帽子・飲み物等もご用意ください。
- ・車や足元等、安全には十分ご留意ください。

【雨天時】

小雨決行します。(荒天時は中止)

【交通機関等】

集合…市営地下鉄西神南駅 出入口周辺

西神南ニュータウンを通り抜け、丘を越えて、如意寺に行きます。

帰路 諏訪神社から

バス 西神中央駅前行 神姫バス 16:52 櫛谷出張所前発⇒17:01 西神中央駅前着

バスの時刻は、変更される場合があります。事前にお確かめください。

徒歩 西神南駅まで 約2.1km

西神中央駅まで 約1.8km